

長崎くんちに参加して(1)

長崎史談会 幹事 平山次男

10月7日午前5時、「バ・バーン…」と静寂な秋空を劈〔つんぎ〕く花火の音。さあ、待ちに待った「長崎くんち」の幕開けである。今年の踊町(今博多町、魚の町、玉園町、江戸町、籠町)の一つ今博多町に長崎史談会の事務局がある関係から協賛として有志会員(宮川、原田、福田、高木、今道、村崎、大塚、山口〔広〕、稲岡〔小屋入りのみ参加〕、平山)の10名が参加した。紋付袴の着付けのため午前4時に事務局に集合し、その着付けの最中に花火の音、身の引き締まる思いで身支度を整える。

6時20分、同町の消防第六分団前集合。ひときわ目に付くのが傘鉾、飾物は町名を記した金色の御幣と神を中心置き、神楽を奉納する意を込めて三社紋を付けた火焰釣り太鼓と鞆鼓〔かっこ〕を飾る。輪は、しめ縄で踊り町を務める7年毎に新調されるそうだが、その値段が、な・なんと81万円と聞いて驚く。そして奉納踊のルーツといわれる本踊を演ずる6羽の鶴に扮した女性たちの艶やかな姿が眩しい。その周辺にはお揃いの着物姿の子役たち(小学生6年～3歳の12名)が、元気にはしゃぐ。傘鉾を先頭に、役員、踊り子、子供踊り子、地方など総勢100余名がシャギリの力強い音に背中を押されるようにして諏訪神社へ向う。

長崎の秋を彩る大祭に相応しく、好天と大勢の観衆に恵まれて諏訪神社の会場はすでに超満員。前日は今博多町が一番町。彦山からの神々しい朝日を浴びて踊り町のシンボルである傘鉾が、最初は静かに、やがて急速・勇壮に回る。「フーマワレ！」の観客の声でさらに力強く回ると、観客から「ヨイヤー！」の返礼がくる。次の出番の間に、町名と鶴の絵を記した手ぬぐいを観客に撒く。長崎くんちの特徴でもあるこの手ぬぐいを捨てるために観に来る人も居るといっただけに、場内が騒然となる。(今博多町が諏訪神社、公会堂広場、お旅所、八坂神社で撒いた手ぬぐいの数は、3日間で7千本以上)そして「今日爰祭祝鶴舞〔きょうここにまつりをいわうつるのまい〕」の調べに合わせて「6羽の鶴」が、白い長絹〔ちょうけん〕をひらひらと揺らし華麗に舞う姿に、「ショモーヤレ！」の声飛び交った。さらに「鉄道唱歌」に合わせて可愛らしい子役たちの出番。汽車のまねをしたり、手をつないだりして最後は皆で入港船を型取る踊りをあどけない姿で奉納。3歳児が3人出場しており、そのうちの一人だけが常にワンテンポ速く自由気ままに踊っている。その動作が真に可憐、これが期待と興奮で見守る観客たちに大うけ、笑い喝采と「ショモーヤレ！」の連

発を浴びる。“子役は主役を食う”というが、どの会場においても観客を和ませて楽しませていた。

公会堂前広場～お旅所での奉納後、A班とB班に別れて庭先回り(子役たちは不出演)へ繰り出す。主な民家や店舗の主人たちを始め見物客の前で、華麗な舞を繰り返し披露し、拍手喝采を浴びる。それにしても一日に何百回も舞う6羽の踊り子たち(最年少者は13歳)の疲労度は大変なものだろう…と、履き慣れない雪駄で血が滲む我が白足袋を見て、つくづく思う。のちに3日間の庭先回りの合計が2,642軒(シャッターを閉じた店先でも踊る)という気の遠くなるような回数を聞かされ、唯々、驚きと畏敬の念を禁じ得なかった。午後、「お下り」を拜む。諏訪神社の祭事を取り仕切る年番町の関係者や色鮮やかな装束を纏った子どもらが行列に続く。三基の煌びやかな神輿は今年の神輿守町「立山、片淵、木場、夫婦川神輿守」に担がれ勇壮に揺れていた。

着飾った3頭の神馬も凛々しかった。午後からの長崎歴史文化博物館、諏訪神社、公会堂前広場での奉納。その後もさらに庭先回りは続く、街中の方々からシャギリの音が響き渡って来る。前日の最終場所(A班は勝山町。B班は馬町)を終え、帰町できたのは午後8時を過ぎていた。疲労困憊だが達成感に浸りながら、有志会員と冷えたビールで明日への英気を養う。(続く)

今博多町 本踊

奉納踊のルーツといわれる今博多町付近は、慶長年間の1600年ごろすでに遊里として開かれていた。



諏訪神社秋の大祭を祝うため飛来した6羽の鶴



本踊の演目

昭和51年(1976) 牡丹蝶取影
(ぼたんのかちょうおとぎのいぶどり)
昭和58年(1983) 三社恵寿三番舞
(さんしやのめぐみあそびことばくさんばんぶ)
平成3年(1991) 今日爰祭祝鶴舞
(きょうここにまつりをいわうつるのまい)
平成10年(1998) 今日爰祭祝鶴舞
(きょうここにまつりをいわうつるのまい)
平成17年(2005) 今日爰祭祝鶴舞
(きょうここにまつりをいわうつるのまい)

<お知らせ>

- ①10.11月号裏面の山口篤史氏の「監事」は「幹事」の間違いでした。
- ②『長崎県謎解き散歩』の史談会預かり分の販売は完了しました。有難うございました。今後は直接書店にてお求め下さい。